

人と人をつなぐ、  
あなたのベストパートナーでありたい。

**IK INABATA**

稲畑産業株式会社

# 株主通信

2018年3月期

2017年4月1日～2018年3月31日



## 管理体制を強化し、 中期経営計画「NC2020」の 達成を目指します

代表取締役社長 **稲畑勝彦**

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの2017年4月1日から2018年3月31日における事業の概況をご報告させていただきます。

### ■ 当期の業績について

当連結会計年度における世界経済は、欧米では、政策の動向に関する不確実性の影響が懸念される中、

米国、ドイツ、英国など主要国において、景気回復が続きました。アジアでは、中国をはじめ、インドネシアやタイなど新興国において、景気持ち直しの動きが続きました。

一方、日本経済は、雇用情勢や企業収益の改善が進む中、設備投資の緩やかな増加や、個人消費・輸出において持ち直しの動きがみられ、緩やかな景気回復が続きました。

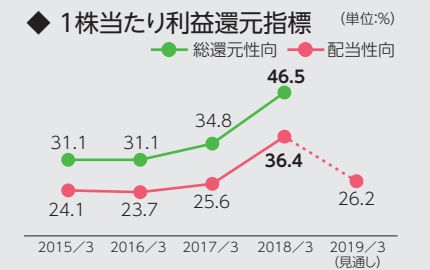
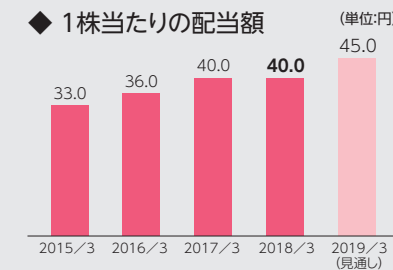
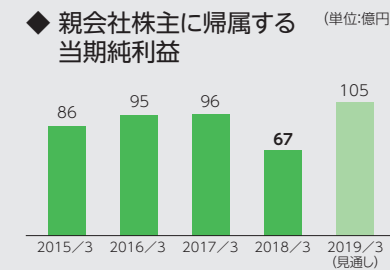
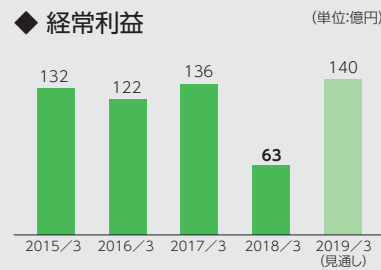
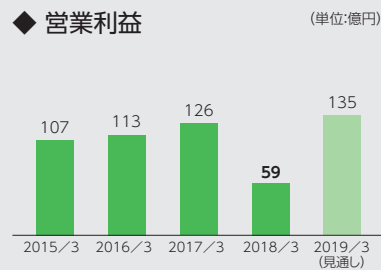
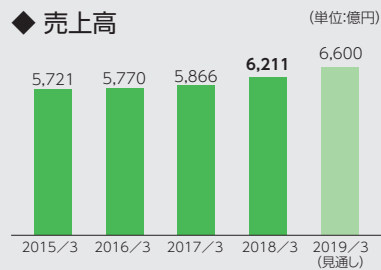
こうした中、当社グループの連結ベースでの売上高は、621,137百万円(対前期比5.9%増)となりました。利益面では、欧州子会社におけるビジネスに対する貸倒引当金の計上等により、営業利益5,962百万円(同52.7%減)、経常利益6,374百万円(同53.4%減)となり、親会社株主に帰属する当期純利益については、投資有価証券売却益の計上等もあり、6,744百万円(同30.4%減)となりました。

### ■ 当期の概要について

売上高については、合成樹脂事業の好調等により、過去最高となりました。しかしながら、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については、欧州子会社における太陽電池関連事業や、中東向けインフラ関連の債権に対する貸倒引当金の計上等により、前期を大きく下回る結果となりました。

欧州子会社において発生した問題は、太陽電池モジュールの在庫の販売予定先による無断売却が主因ではありますが、一方で同社が業績の拡大を急いだことや、当社の海外ビジネスが急拡大する中で、全社的な海外グループ会社の管理体制の整備が一部追いついていなかったことが背景としてありました。今後、このようなことが起こらぬよう社内に再発防止推進部会を設けて再発防止策を策定し、当社グループ全体で周知・徹底を進めております。

## ◆ 連結財務ハイライト



■ 中期経営計画「NC2020」  
初年度の進捗について

次に2021年3月期を最終年度とする4カ年の中期経営計画「New Challenge 2020」(略称「NC2020」)の初年度の進捗状況について、注力分野を中心に説明いたします。

まず情報電子事業ですが、ご説明した通り太陽電池関連の大幅な苦戦はありましたが、主力の液晶関連は偏光板原料の販売を中心に堅調でした。「NC2020」の期間中、液晶関連市場は緩やかな成長が続くとみており、引き続き主戦場である中国市場においてシェア獲得を目指してまいります。液晶関



連以外では、OA分野における安定収益の獲得、また、太陽電池関連の落ち込みをカバーすべく、LED関連やIT関連などのビジネス育成を進めてまいります。

続いて合成樹脂事業は、国内外とも全般的に好調でした。特に注力分野である自動車関連では、当社が強みとする7カ国8拠点で展開する樹脂コンパウンド事業を足掛かりとして、グローバルに部品メーカーとの取引が拡大しています。東南アジアではOA向けの樹脂の販売も好調でした。北米ではメキシコ拠点での利益面での苦戦はありましたが、ビジネスは着実に広がりつつあり、今後の収益源となるよう引き続き注力してまいります。

◆ 達成状況

	2018年3月期 実績(A)	中期経営計画 初年度目標(B)	達成率 (A/B)%
売上高	6,211 億円	6,300 億円	98.6%
営業利益	59 億円	125 億円	47.7%
経常利益	63 億円	130 億円	49.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	67 億円	100 億円	67.4%
為替レート (米ドル)	110.85 円	110.00 円	—

生活産業事業においては、注力分野であるライフサイエンス分野において、医薬用原料等の販売が好調でした。食品関連については、農水産品の販売が国内外とも概ね堅調でした。注力分野である農業分野においては、北海道において自社のブルーベリー農園や野菜の栽培などを進めています。当初の想定より時間がかかっていますが、これも将来の収益源となるようパートナーと協力して育成を進めてまいります。

■ 配当について

当期の期末配当金につきましては、1株当たり20円とさせていただきます。すでに2017年12月1日に実施済みの中間配当金1株当たり20円とあわせまして、年間配当金は1株あたり40円となります。

■ 株主の皆様へ

「NC2020」初年度の実績は、利益面で大幅な未達となりましたが、海外を中心に管理体制の強化を図ると共に「NC2020」の重点施策をひとつずつ着実に実行することで、当初計画した軌道に早く戻し、最終年度の目標達成に向けて全力で取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

2018年6月

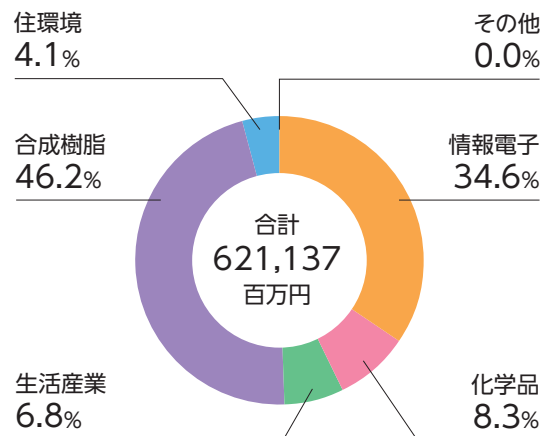
◆ 中期経営計画「NC2020」最終年度の目標

	2021年3月期
売上高	7,300 億円
営業利益	155 億円
経常利益	160 億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	120 億円
ネットD/Eレシオ	0.4倍以下

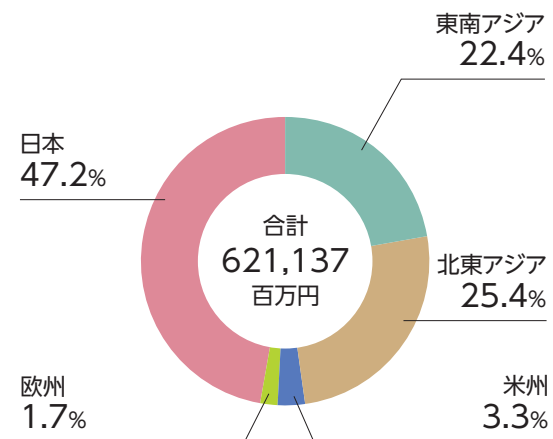
◆ 中期経営計画「NC2020」の重点施策

1	海外事業の更なる拡大と深化
2	成長が見込める市場・未開拓分野への注力 ・自動車、ライフサイエンス・医療、環境・エネルギー分野へ引き続き注力 ・農業を含む食品分野への新たな展開
3	グローバルな経営情報インフラの高度化 ・グループ全体最適の徹底 ・海外事業のマネジメントの高度化と標準化
4	商社ビジネス拡大に向けた投資の積極化 ・商社ビジネス拡大を主たる目的としたマイノリティ投資の実施 ・リスク・金額を限定したマジョリティ投資の検討
5	保有資産の継続的な見直しと財務体質の強化
6	グローバル人財マネジメントの確立

◆ 事業区分別売上高構成比 (2017年4月1日～2018年3月31日)



◆ 所在地別売上高構成比 (2017年4月1日～2018年3月31日)



情報電子事業

世界各地の拠点と連携し、原材料だけでなく、ワールドワイドのサプライチェーン構築などの機能をご提供します。



◆ セグメント別売上 (単位: 億円)



売上高 **214,963** 百万円 対前期比 **2.7%** 減  
 セグメント損失 **△2,045** 百万円 同

液晶関連では、偏光板原料の販売が伸長しましたが、偏光板の販売は主として台湾において減少しました。  
 インクジェットプリンター関連では、コンシューマー分野でインク原料や部品の新規取引が始まり、また産業用分野向けも堅調に推移し、全体として販売が伸長しました。  
 複写機関連では、国内主要顧客向けの材料販売が堅調でしたが、海外向けの販売が減少し、全体では低調でした。  
 太陽電池関連の販売は国内外共に低調でした。二次電池関連では、材料の販売が減少しました。  
 半導体関連では、材料・装置共に販売が伸長しました。  
 利益面では、欧州子会社における太陽電池関連事業に対する貸倒引当金の計上等に加え、欧州子会社における中東向けインフラ関連等回収が長引いている債権に対する貸倒引当金の計上により大幅な減益となりました。

化学品事業

マーケット、商材の専門知識に加えて物流関連の機能をいかし、顧客のニーズに合わせた最適なソリューションをご提案します。



◆ セグメント別売上 (単位: 億円)



売上高 **51,580** 百万円 対前期比 **7.4%** 増  
 セグメント利益 **259** 百万円 同 **74.1%** 減

自動車分野では、エアバッグ用の原料販売が低調でしたが、放熱材など、その他の部品原料の販売は総じて堅調でした。  
 樹脂原料・添加剤のビジネスでは、エンブラ用の原料販売が伸長しました。  
 塗料・インキ分野向け原料・中間体は、ウレタン関連の販売と海外向け販売が伸長しました。  
 製紙業界向け薬剤の販売は堅調でした。  
 接着剤関連の販売は、横ばいでした。  
 利益面では、欧州子会社における貸倒引当金の計上により、減益となりました。

生活産業事業

ライフサイエンスと食品を通じて、人々のより健康で快適な生活に貢献します。



◆ セグメント別売上 (単位: 億円)

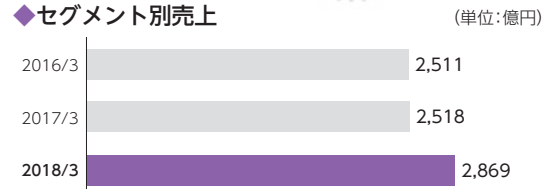
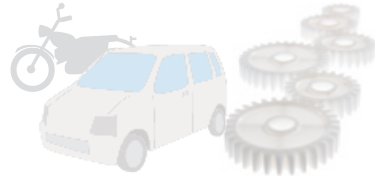


売上高 **42,392** 百万円 対前期比 **4.8%** 増  
 セグメント利益 **1,920** 百万円 同 **5.5%** 増

ライフサイエンス関連では、新薬用原料等の販売が概ね好調でしたが、抗生物質原料の販売減少により利益面は低調でした。米国や欧州では、医薬品・化粧品原料の販売が伸長しました。  
 ホームプロダクツ分野は、柔軟剤原料の販売が低調でしたが、殺虫剤原料の販売増もあり、全体では微減となりました。  
 食品関連では、プロッコリーなど冷凍野菜や切身凍魚の輸入販売が伸長しました。国産冷凍野菜の国内販売は堅調でした。国産食材の米国向け新規販売が伸長しました。米国では、エビ・サーモンの販売が好調でした。

## 合成樹脂事業

国内外のネットワークとグループのメーカー機能を活用し、材料の選定から加工に至るまで顧客をトータルにサポートします。



売上高 **286,900**百万円 対前期比 **13.9%**増  
 セグメント利益 **5,541**百万円 同 **2.7%**増

汎用樹脂関連では、日用品・食品・化粧品容器向けの樹脂の販売が伸長しました。

建材・土木関連の販売は堅調でした。

高機能樹脂関連では、自動車向けの樹脂の販売が国内外共に好調でした。中国では日系・非日系共に自動車向けの樹脂の販売が伸長しました。東南アジアでは車両、OA向けの樹脂の販売が好調でした。

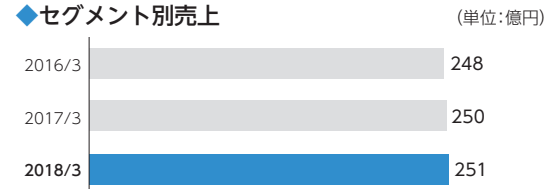
コンパウンド事業では、メキシコ拠点で利益面で苦戦しました。

フィルム・シート関連では、コンビニ飲料用や電子部品用の包材の販売が堅調でした。

スポーツ資材関連では、グリップテープの国内と北米向けの販売が堅調でした。

## 住環境事業

原材料の調達から最終製品までの加工、物流をトータルに担う「一貫ビジネス」を展開、安心してご使用いただける商材をお届けします。



売上高 **25,137**百万円 対前期比 **0.3%**増  
 セグメント利益 **157**百万円 同 **39.6%**減

住宅建材関連では、大手ハウスメーカー及び木質ボードメーカー向けの資材販売は横ばいでしたが、建材メーカー向けの資材販売が低調でした。

環境資材関連では、非住宅分野向けの資材や住宅設備機器の販売が伸長しました。

海外関連では、東南アジア向けインフラ設備と中国向け原木の販売が低調でした。

### 特集

## 化学品事業 グループ会社紹介 上海稲畑精細化工有限公司



工場全景

## 塗料でクルマを強く美しく… No.1 を目指す品質管理

上海稲畑精細化工は、化学品事業の戦略の一環として、2007年中華人民共和国上海市に設立されました。主に現地で生産される自動車のボディに使われるウレタン樹脂塗料の硬化剤を製造しています。



【上海稲畑精細化工有限公司】  
 所在地：中華人民共和国上海市  
 資本金：419万US\$  
 事業内容：塗料用原料の加工

ウレタン樹脂塗料は、紫外線や雨風にさらされる厳しい状況下でも、長期にわたり美しい状態を保つことができるため、特に高級車に採用されるケースが多く重要が伸びています。

ただ、ウレタン樹脂塗料に使われる硬化剤は、少しでも酸素や水に触れると品質が劣化してしまうため、取扱いには細心の注意が求められます。上海稲畑精細化工では、創業以来、品質クレームゼロを目指し、クリーンルームの設置をはじめ品質管理体制の確立に努めてきました。大手自動車メーカーの厳格

な検査基準もクリアするなど、その品質管理の実績が認められ、近年多くの塗料メーカーに製品を採用いただいております。

中国では、2017年には世界の3割近くの自動車が生産され、今後も引き続き伸びが期待されています。この市場の拡大に対応するため、上海稲畑精細化工は、2016年に第二工場を新設しました。また、ウレタン樹脂系以外の新たな塗料用原料の生産にも取り組んでおります。上海稲畑精細化工はお客様とともに大きく発展してまいります。



顧客の品質規格値の管理

製品の品質検査



小容量の容器への充填作業

空気と触れないよう窒素を充填して混合

### ウレタン樹脂塗料とは？



主剤と硬化剤との化学反応による硬化で強靱な塗膜を形成します。硬化剤の主な成分はイソシアネートと呼ばれるもので、上海稲畑精細化工では、これに溶剤を加える希釈加工と塗装現場で使いやすい容量への小分け作業を行っています。

◆ 連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科目	前期末 2017年3月31日現在	当期末 2018年3月31日現在
流動資産	238,441	262,635
固定資産	101,705	90,747
資産合計	340,147	353,382
流動負債	150,517	175,685
固定負債	41,999	34,760
負債合計	192,517	210,446
純資産合計	147,629	142,936
負債純資産合計	340,147	353,382

◆ 連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	前期 2016年4月1日～ 2017年3月31日	当期 2017年4月1日～ 2018年3月31日
売上高	586,630	621,137
売上総利益	42,740	44,854
販売費及び一般管理費	30,123	38,891
営業利益	12,616	5,962
営業外損益	1,055	412
経常利益	13,672	6,374
特別損益	1,904	6,952
親会社株主に帰属する当期純利益	9,687	6,744

◆ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	前期 2016年4月1日～ 2017年3月31日	当期 2017年4月1日～ 2018年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,840	5,960
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,504	5,086
財務活動によるキャッシュ・フロー	△481	△4,901
現金及び現金同等物に係る換算差額	△199	△31
現金及び現金同等物の増減額	5,664	6,114
現金及び現金同等物の期首残高	17,088	22,935
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	183	185
現金及び現金同等物の期末残高	22,935	29,235

- point 1 流動資産の増加**  
受取手形及び売掛金が増加したこと等により、24,193百万円増加しました。
- point 2 流動負債の増加**  
支払手形及び買掛金が増加したこと等により、25,168百万円増加しました。
- point 3 純資産の減少**  
その他有価証券評価差額金が減少したこと等により、4,693百万円減少しました。
- point 4 売上高の増加**  
合成樹脂事業の好調等により、34,507百万円増加しました。
- point 5 営業利益の減少**  
貸倒引当金の計上に伴い販売管理費が増加したこと等により、6,653百万円減少しました。
- point 6 親会社株主に帰属する当期純利益の減少**  
投資有価証券売却益が増加したものの、経常利益が減少したこと等により、2,943百万円減少しました。

会社概要

(2018年3月31日現在)

会社名	稲畑産業株式会社
創業年月日	1890年10月1日
設立年月日	1918年6月10日
資本金	93億6千4百万円
従業員数	630名(グループ会社への出向者を含む) [連結4,098名]
大阪本社	大阪市中央区南船場一丁目15番14号
東京本社	東京都中央区日本橋本町二丁目8番2号
名古屋支店	名古屋市中区名駅二丁目27番8号
営業所	松本営業所、九州営業所(霧島市)

株式情報

(2018年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 普通株式 200,000,000株
- 発行済株式の総数 普通株式 63,499,227株
- 株主数 6,588名
- 大株主の状況(上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
住友化学株式会社	13,836	22.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,075	5.0
JP MORGAN CHASE BANK 380684	2,849	4.6
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,250	3.7
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	1,736	2.8
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,361	2.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,196	2.0
稲畑 勝雄	1,161	1.9
株式会社みずほ銀行	1,114	1.8
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578	985	1.6

(注)当社保有の自己株式数(2,210,097株)につきましては、上記の表及び持株比率の計算より除いております。

役員

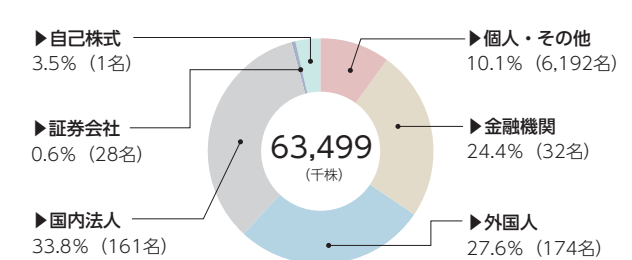
(2018年6月22日現在)

代表取締役社長執行役員	稲畑 勝太郎	常勤監査役	望月 卓
代表取締役専務執行役員	赤尾 豊弘	監査役	高橋 慶孝
代表取締役専務執行役員	横田 健一	監査役	森本 親治
取締役常務執行役員	佐藤 友彦	監査役	柳原 克哉
取締役常務執行役員	杉山 勝浩	執行役員	小田 吉哉
取締役常務執行役員	安江 範臣	執行役員	大橋 基雄
取締役	高尾 剛正	執行役員	幡本 裕之
取締役	中村 克己	執行役員	花木 和宏
取締役	蟹澤 俊行	執行役員	久保井 伸和
		執行役員	河合 紳也

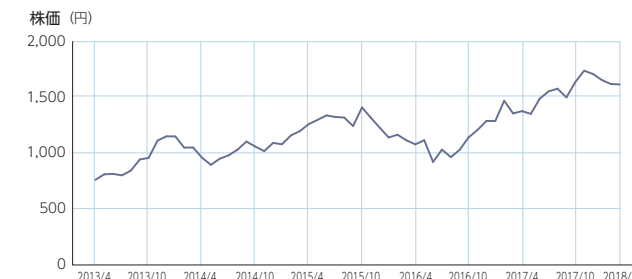
(注)1.取締役 高尾 剛正、中村 克己及び蟹澤 俊行は、社外取締役であります。  
2.監査役 高橋 慶孝、森本 親治及び柳原 克哉は、社外監査役であります。

所有者別株式分布状況

(2018年3月31日現在)



株価の推移(月間終値)



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 その他必要がある時は、あらかじめ公告して定めます。
定時株主総会	毎年6月開催
公告の方法	電子公告 当社のホームページに掲載します。 <a href="http://www.inabata.co.jp/koukoku">http://www.inabata.co.jp/koukoku</a> ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部
証券コード	8098
単元株式数	100株
会計監査人	大阪市中央区瓦町三丁目6番5号 銀泉備後町ビル 有限責任 あずさ監査法人
株主名簿管理人及び特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031
(ホームページURL)	<a href="http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a>

### 【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。

### 【特別口座について】

株券電子化前にほふり(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

## 定時株主総会に関するご報告

従前より郵送していましたが「株主総会決議ご通知」につきまして、本年より郵送を廃止させていただきました。今後は、書面に代えて、当社ホームページにてご案内させていただきます。

<http://www.inabata.co.jp/investor/>

## 株主優待制度について

株主の皆様の日頃のご支援に感謝して、毎年9月30日現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有の株主様に、株主優待品をお送りしております。

### ●株主優待の内容 当社オリジナルQUOカード



#### 継続保有期間 3年未満の株主様

QUOカード1,000円分

#### 継続保有期間 3年以上の株主様

QUOカード2,000円分

#### ●ご送付の時期

毎年12月初旬頃に、第2四半期株主通信と併せて発送いたします。

※継続保有期間 3年以上とは…

100株以上を3年以上継続保有(9月末日、12月末日、3月末日、6月末日の株主名簿に同一株主番号で連続記載)されている株主様をいいます。

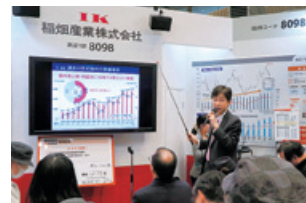
## トピックス

## Topics

### 野村IR 資産運用フェア2017に出展しました

大阪国際会議場で行われた「野村IR資産運用フェア2017」に出展いたしました。

講演会場では、稲畑社長による会社説明会を行いました。当社ブースではミニ説明会を実施し、多くの個人投資家・株主の皆様にご参加いただきました。



日時：2017年12月22日(金)～23日(土)  
場所：大阪国際会議場  
来場者数：10,800名  
主催：野村インベスター・リレーションズ株式会社